

日本基督教団 八ヶ岳伝道所 待降節第一週 主日礼拝 NO.1148 2020年11月29日

牧師 山本護 奏楽 山本恵美 第一部礼拝 司式 福田奈里子 9:30~10:30
 ※讃美は二番まで歌います 第二部礼拝 司式 斎藤美沙子 11:00~12:00

前奏	黙想	讃美歌	Ⅱ-124	マリヤはあゆみぬ
讃美歌	85 主のまことは	献金		
祈禱		讃詠	547	いまささぐるそなえものを
聖書	エレミヤ書 1:4~8 ルカによる福音書 1:26~38	黙禱		
讃美歌	94 久しく待ちにし	主の祈り	564	
説教	『降誕にはすでに復活が』	頌栄	544	あまつみたみも
祈禱		祝禱		
		後奏		※信仰告白は当面省略します。

日本人の系図はたいして遡りえない。老舗和菓子屋などは創業年を自慢するが、私は庶民の豆餅や団子が好きだし、系図とか伝統への関心が薄い。イスラエル部族は系図を後生大事にする。キリストの系図は、マタイ福音書ではアブラハムを源流として、流れを下りきった最後をイエスの誕生にしている(マタイ 1:2~16)。ところがルカ福音書では、イエスから上流へ遡り、アブラハムを通り越して、なんとアダムや神に辿り着く(ルカ 3:23~38)。あえて系図の体を取りながら、系図幻想をふり払っている。

天使はマリアに、あなたは男子を産むと告げ(1:31)、その子はダビデの王座を得てヤコブの家を治めると語った(1:32~33)。しかし父ダビデ(1:32)の末裔は婚約者ヨセフで(1:27)、マリアの系ではない。「男の人を知りませんのに」といぶかしむマリアに(1:34)、天使は不可思議なことを告げる。

「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる(1:35)」。聖霊を父とするゆえ、もはやダビデやヤコブに象徴されるイスラエルの範囲に留まらない。ルカ福音書は、栄光の王や父祖の名をあげながら、それに捉われない見通しを、天使の言葉として伝える。系図を用いながら、その領域に限定されない自由な広がりを示したように。

系図の冒頭には「イエスはヨセフの子と思われていた(3:23)」とある。それどころか降誕は当初こう理解されていた。「御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、聖なる霊によれば、死者の中からの復活によって力ある神の子と定められた。この方が、わたしたちの主イエス・キリスト(マタイ 1:3~4)」。肉の父はヨセフに違いないが、復活によってイエスは神の子として、キリストに定められた、と。

処女懐胎には疑義があろう。だがそこで立ち止まらず、聖書の記述をその使信に沿って聞き取ろう。ルカ福音書は「聖霊によって～生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる(ルカ 1:35)」と語り、降誕以前にキリストを暗示している。すなわち降誕には十字架と復活が内在されていて、ここに重心がある。

天使は「ナザレというガリラヤの町」に神から遣わされた(1:26)。「ナザレからは良いものが出ない(ヨナ 1:46)」、「メシアはガリラヤからは出ない(7:41)」と言われていた地での受胎告知(ルカ 1:31)。それも無力な、氏素性が定かならぬ貧しい少女に告げられた。クリスマスが起るのは、なぜ聖都エルサレムの高貴な家ではなかったのか。救世主メシアの出自は、人々が渴望するダビデ王朝復興に適ったものがふさわしいはずだ。しかし世の底辺の、誰も気に留めることのない無力な少女にそれが起った。

「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた(1:30)」と天使は告げた。だがマリアにしてみれば、自分がメシアを産むなど到底ありえない(1:31~34)。すると天使は言った。「神にできないことは何一つない(1:37)」。そりゃそうだろうが、まさか自分ではない、と拒絶したりせず、マリアは「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身になりますように(1:38)」と答えた。

マリアはその身を献げて御告げに「アーメン」と応えた。無力な少女が、男の力や庇護に頼ることなく、命がけでシングルマザーになる決意をした。「主が共におられる(1:28)」ことは何事をも超える。

復活は十字架によって起こる。でもマリアは、イエス懐胎によって少しだけ早くそれを感じていた。「この身になりますように」とはキリストの力。無力な少女の覚悟と自由。聖霊の風が吹いている。

今日から待降節(アドベント)が始まります。次週 12/6 の礼拝後に役員会。12/12(土)13:30~15:00 聖書研究会。牧師の動き:12/2 聖書の話(山梨 YMCA)、12/7 午前は刑務所教誨、午後は臨時教区総会。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。